

番号	課名	グループ名
H - 1	消防本部 総務課	消防団グループ

事務事業名		小型動力ポンプ及び消防団車輛（積載車・ポンプ車）購入事業					新規・継続	継続		
							ソフト・ハード	ハード		
総合計画との関連	主要施策名 （施策コード）	Ⅲ-8-15	防災・減災のための整備							
	関連施策名 （施策コード）	Ⅲ-7-13	自主的な防災活動及び防災教育の推進							
		Ⅲ-7-14	防災に関する組織の育成・強化							
基本項目	事業内容 （経緯）	ポンプ車1台、小型動力ポンプ積載車2台、小型動力ポンプ2基を購入し、消防団機械庫に配備しました。 火災をはじめ、各種災害発生時の機動力向上のため、整備・更新を行う必要があります。								
	行動指標		指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R1 実績値	R2 計画値
						H28	H29	H30		
		①	消防団車輛老朽化所持率 （積載車・ポンプ車）	全46台に対する比率 （15年以上経過車輛）	%	24	22	22	17	13
		②	小型動力ポンプ老朽化所持率	全56台に対する比率 （15年以上経過車輛）	%	29	25	25	23	16
		③								
	④									
	事業対象	消防団及び市民		成果	小型動力ポンプおよび車両（積載車・ポンプ車）の更新によりいつ故障が起きてもおかしくない状態から万全な体制が整い、災害への備えができるようになりました。					
成果指標		指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R1 実績値	R2 計画値	
					H28	H29	H30			
		整備後15年以上経過の車両・ポンプの老朽化所持率	整備後15年以上の老朽化率（全105台）	%	27	24	24	21	14.70	

コスト

関連する予算事業																
会計		款	項		目	事業		節（または説明）	事業費（千円）	関連する行動指標						
11	一般会計	9	消防費	1	消防費	3	消防施設費	335	消防施設費	18	備品購入費	31,915				
												-				
												-				
その他直接経費				-						a直接経費合計		31,915				
直接経費財源内訳		国庫補助金				県補助金				市債		27,100	使用料・手数料・その他		一般財源等	4,815
関連する予算事業と成果指標の関連性、影響																

評価 の 視 点	評価		判断基準	理由
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か		老朽化した車両・ポンプは故障が多く発生しています。 いつ発生するは分からない災害に迅速に対応するため、 購入は必要です。
		A	A：適応している B：一部適応していない C：適応していない	
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか		有事の際に即座に対応でき、火災早期鎮圧・被害の軽減 が期待されます。
		A	A：期待したとおりの効果がある B：期待したほどの効果が見られない C：効果が少ない	
効率性	行政資源量（特にコスト）に対し合った効果があるか		車両及び小型動力ポンプを計画的に更新することで、少人数で 効率的に現場活動を行えることに加え、老朽化に伴う修繕費や 人件費の縮減に繋がり効果があるものと考えます。	
	A	A：効率的に効果が出ている B：改善の余地がややある C：効率的に効果が出ていない		
事業の問題・課題	物品や資機材の管理者に対し、常日頃から機械の点検や使用をお願いしていますが、まだまだ機械を動かさないことによる故障が見られます。故障が無いよう、維持管理の徹底をしていく必要があります。			
前年度の改善案	地域の方に理解を求めながら部の統廃合を実施し、車両やポンプの購入を計画的に実施していきます。			
具体的な改善案	訓練や会議を通して、質の高い管理方法を指導していきます。			

課長評価	現状のまま継続する（継続）	理由	小型動力ポンプおよび車両の更新は有事の際に迅速に対応するため、また故障に伴う修理費の削減のためにも計画的に行うことが必要です。
------	---------------	----	---

番号	課名	グループ名
H - 2	消防本部 総務課	庶務グループ

事務事業名		救助工作車購入事業					新規・継続	継続		
							ソフト・ハード	ハード		
総合計画との関連	主要施策名 (施策コード)	VII-21-51	救急体制・消防力の充実							
	関連施策名 (施策コード)									
基本項目	事業内容 (経緯)	17年経過し老朽化した救助工作車（1台）及び救助資機材を更新整備しました。 各種救助活動に対応できる救助工作車及び救助資機材は計画的に整備・更新する必要があります。								
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R1 実績値	R2 計画値	
					H28	H29	H30			
		①	更新した救助工作車台数	更新した救助工作車台数	台				1	
		②								
		③								
	④									
	事業対象	市民	成果	各種救助活動に対応できる救助工作車及び救助資機材が整備できたことにより、万全な体制が整い、災害への備えができるようになりました。						
	成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R1 実績値	R2 計画値	
					H28	H29	H30			
	消防力の整備指針に対する車両配置率	配置している救助工作車÷ 消防力の整備指針による配置数	%	100	100	100	100	100		

コスト

関連する予算事業																
会計		款	項		目	事業		節（または説明）	事業費（千円）	関連する行動指標						
11	一般会計	9	消防費	1	消防費	3	消防施設費	335	消防施設費	18	備品購入費	118,800				
												-				
												-				
その他直接経費				-						a直接経費合計		118,800				
直接経費財源内訳		国庫補助金				県補助金				市債		118,800	使用料・手数料・その他		一般財源等	
関連する予算事業と成果指標の関連性、影響																

評価の視点	評価		判断基準	理由
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か		救助出動件数は年間４０件程度発生しており、特殊な資機材を使い救助救出活動を行うためには、車両及び資機材の更新が必要である。
		A	A：適応している B：一部適応していない C：適応していない	
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか		機動力の強化、資機材の整備により救助活動の迅速化、効率化が図れます。
		A	A：期待したとおりの効果がある B：期待したほどの効果が見られない C：効果が少ない	
	効率性	行政資源量（特にコスト）に対し合った効果があるか		車両及び資機材の整備により市民が安心して生活できる。
A		A：効率的に効果が出ている B：改善の余地がややある C：効率的に効果が出ていない		
事業の問題・課題	車両、資機材が整備できたので、平常時から車両点検や訓練を繰り返し行い、緊急時に対応できる隊員の養成が必要とります。			
前年度の改善案	なし			
具体的な改善案	なし			

課長評価	事業目的達成による完了・完了予定（完了）	理由	車両及び資機材の整備は終了しました。
------	----------------------	----	--------------------

番号	課名	グループ名
H - 3	警防課	施設救助グループ

事務事業名		防火水槽整備事業					新規・継続		継続		
							ソフト・ハード		ハード		
総合計画との関連	主要施策名 (施策コード)	VII-21-51	救急体制・消防力の充実								
	関連施策名 (施策コード)	VII-21-51	救急体制・消防力の充実								
基本項目	事業内容 (経緯)	防火水槽の用途は火災時のみならず、大規模災害時にも生活用水として非常に有効と考えます。4.0m以上の防火水槽は有事の際には多数の地域住民の命を守る貴重な財産となりますので、今後も計画的に新設整備を行います。 臼杵市大字前田門前地区と野津町大字山頭八熊地区に耐震性貯水槽40mを新設することが出来ました。 野津町中山地区、名塚地区、西神野地区の防火水槽有蓋工事を行うことが出来ました。									
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R1 実績値	R2 計画値		
					H28	H29	H30				
		①	耐震性貯水槽新設工事	新設設置数	箇所	2	2	2	2	2	
		②	防火水槽有蓋工事	無蓋水槽の有蓋化工事	箇所	3	3	3	3	3	
		③	防火水槽漏水補修工事	漏水補修工事	箇所	2	3	—	—	2	
	④										
事業対象	消防職員		成果	市民の安心感を得ることができ、火災発生時には迅速な消火態勢を図ることが出来ました。							
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R1 実績値	R2 計画値			
	新設・補修整備数	新規設置水槽数+補修整備水槽数	箇所	7	8	5	5	7			

コスト	関連する予算事業									
	会計	款	項	目	事業		節（または説明）	事業費（千円）	関連する行動指標	
	11 一般会計	9 消防費	1 消防費	3 消防施設費	335	消防施設費	耐震性貯水槽新設工事	17,536		
	11 一般会計	9 消防費	1 消防費	3 消防施設費	335	消防施設費	防火水槽有蓋工事	5,907		
	11 一般会計	9 消防費	1 消防費	3 消防施設費	335	消防施設費	防火水槽漏水補修工事	—		
	その他直接経費		—				a直接経費合計	23,443		
	直接経費財源内訳	国庫補助金	5,486	県補助金		市債	17,900	使用料・手数料・その他	一般財源等	57
関連する予算事業と成果指標の関連性、影響										

評価の視点	評価		判断基準		理由
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か			地区からの要望も多く、安全・安心な暮らしに直結するため必要性は高いです。
		A	A：適応している B：一部適応していない C：適応していない		
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか			火災が発生した場合の初期消火の迅速性、延焼拡大を防ぐためにも非常に有効です。
		A	A：期待したとおりの効果がある B：期待したほどの効果が見られない C：効果が少ない		
効率性	行政資源量（特にコスト）に対し合った効果があるか			単年度で完成し、効率よく執行されています。	
	A	A：効率的に効果が出ている B：改善の余地がややある C：効率的に効果が出ていない			
事業の問題・課題		老朽化している防火水槽が多く、また整備には多額の費用が必要なため計画的な整備が必要です。			
前年度の改善案		消防団や地域の方からの要望をとりまとめ、緊急性の高いものから整備を行います。			
具体的な改善案		市内の全公設水利を春と秋に調査し、主に老朽化・漏水等の緊急性を判断し事業整備します。			

課長評価	現状のまま継続する（継続）	理由	防火水槽は計画的に整備する必要があります。消火栓の新設等は水道課と協議し検討します。防火水槽有蓋工事は老朽化した防火水槽が多いため新設または、有蓋化を検討し事業を実施します。
------	---------------	----	---